

日本建築学会環境工学委員会熱環境運営委員会
バイオクライマティックデザイン小委員会（2008年度 第4回）議事録

2009年2月3日（火）17:00～19:30

日本建築学会 306会議室

出席者：須永（首都大大学東京）、長谷川（秋田県立大）、斉藤（札幌市立大）、宇野（文化財研究所）、廣谷（オーガニックテーブル）、宿谷（武蔵工業大学）、加藤（台湾淡江大学）、鈴木（武蔵工業大学 M2）

議事（検討事項）

1. 出版準備ワーキング ディスカッション 17:00～18:30

企画案（Ver5）、構成、目次案等の内容確認。

出版準備 WG 委員にて、現在までの企画、目次案の確認を行なった。

具体的な役割分担、指示だし等についての出版準備 WG で行なうことを決定した。

2. バイオクライマティックデザイン小委員会 18:30～19:30

i) 2008年度成果報告書（案）の確認

熱環境運営委員会に提出した今年度の成果報告書の内容について確認をした。

ii) 話題提供

① 加藤義夫先生(台湾淡江大学) 30分程度

Viable Community について ～台湾建築家協会講演より抜粋

台湾淡江大学における修士学生の設計課題、環境建築の年譜についての紹介があり、出版本の重要資料として、加藤先生のご協力をいただくこととした。

また、関連して、宿谷先生からの環境設備と環境建築の系譜についての資料を提供いただくこととした。

② 宇野幹事<ゲスト紹介>

Jan Carmeliet 教授

EMPA (Materials Science & Technology, ETH (Swiss Federal Institute of Technology Zurich) Laboratory for Building Technologies

安福 勝 氏 (アブクマサル) ルーベンカトリック大学 博士課程学生

Laboratory of Building Physics, Department of Civil,

Katholieke Universiteit Leuven